

---

## 第1回ソーシャルビジネス推進イニシアティブ 議事要旨

---

日時：平成20年12月12日（金）13：00～15：00

場所：経済産業省本館17階第1特別会議室

出席者：[委員]中村座長、鈴木委員、関委員、谷口委員、濱口委員、原田委員、藤田委員、宮城委員（欠席：前田委員）  
[地域協議会]河西委員、渡辺氏（加藤委員代理）、永沢委員、関戸委員、堀野氏（山田委員代理）、中村（隆）委員、森委員、田中委員、親川委員

### 1. ソーシャルビジネス推進イニシアティブ開催の趣旨について

異議なし、承認

### 2. 普及啓発・企業等とのマッチング専門委員会について

- ・NPOの場合は企業との協働はよく聞くが、SB/CB事業者は其中で完結するものもあり、なぜ企業とのマッチングを全面に出すのか整理が必要。
- ・SB/CB事業者と企業との新しい関係性について、様々なケースから関係性の在り方、ビジネスの広げ方について検討を深めたい。
- ・将来的に日本の中で大きなインパクトとなっていく社会的課題とその解決策の仮説を立て、企業と連携するか、単独でやっていくのかを事業者は頭脳を全開にして真剣に考えることが重要であり、自立につながるしくみの検討が必要。
- ・企業のCSRは多様化しており、社会的課題に対する金銭的な支援だけでなく、リソースは色々ある。

専門委員会ではマッチングという語感に引っ張られず、今までにできていなかったSBと企業の新しい関係をつくれるような議論を深める。

### 3. 全国規模のフォーラムの開催について

- ・SB/CBとは何か、わかりやすい言葉で伝え、社会に浸透させいくことが重要。
- ・自治体とSB/CB事業者とのマッチングの成功事例を紹介する分科会がほしい。
- ・SB/CBは地域活性化のツールであり、NPOやボランティアの振興とは異なるという共通認識を持ちたい。
- ・SB/CBは、単なる企業以上に高い倫理観と経営能力を持つ自立した事業体であることを、次代を担う若者たちに伝えていける場になるとよい。
- ・既存のSB/CBの事業モデルを前提として、企業セクター等から意見をもらう形を考えたい
- ・これから先問題になるであろう社会的な課題を提起して、それがビジネス化できるかを企業に企画提案できるような人材の育成を目的にしたい。
- ・この場からビジネスが生まれていくというダイナミズムがあるフォーラムにすると、若者によい刺激を与えることができる。
- ・SB/CBが地域を支えてきた足跡や、ポテンシャルを示したい。分かりやすさのために映像を活用するなど表現の工夫をして、分科会を多く持つとよい。

- ・個々の取り組みの発表よりも、マッチングの新しい仕組みを検討する場になるとよい。
- ・S B / C Bの事業者や見識者を核に据えて、具体的なビジネス展開について議論する場をつくりたい。

個別の地域性を超えたところで行われるものとして、C Bではなく、S Bを想定していることを共有した。フォーラムの具体的な実施内容については、専門委員会で議論を深める。

#### 4 . ポータルサイト ( W e b サイト ) の開設について

W e b サイトの詳細は専門委員会で検討し、共有していく。

#### 5 . ソーシャルビジネス推進の方向性について

- ・数よりも、質の高いモデルを作ることが重要。どの事業ステージで、どのようなS B / C B事業者に対して支援が必要なのかを見極める必要がある。
- ・人材をどう育成し、発掘していくのが重要。
- ・優秀な人材がS B / C Bの分野で活躍できるよう、給与も含めた人事制度に対する支援策も検討する必要がある。
- ・事業ステージごとに、きめ細やかな支援プログラムを検討してほしい。
- ・既存のS B / C B事業者自身がより努力すべきことは何かを発信していく必要もある。

S B 推進のための基盤整備をどう進めていくか、今回の論点を事務局で整理し、今後運営委員会で検討の上、次回イニシアティブで引き続き議論を行う。

以上